

# 夏山山行

～南アルプスの大きさ、雄大さを感じる～

## 聖岳・赤石岳(3013m・3121m)

2022.08.08(月)～12(金)

<参加メンバー> 4人(男性2人、女性2人) <天候> 8/8 晴れのち曇り時々わか雨、8/9 曇り、8/10 霧、8/11 晴れ、8/12 雨

### <コースタイム>

#### 1日目: 8/8 (月)

川西池田 6:40 → 赤石温泉白樺荘着

#### 2日目: 8/9 (火)

東海フォレストバス 7:10 →

聖沢登山口 8:15 → 聖平小屋 14:40 着

#### 3日目: 8/10 (水)

聖平小屋 5:15 → 子聖岳 6:40 →

聖岳(前聖岳) 7:50 → 奥聖岳 8:30 →

兎岳 11:15 → 小兎岳 12:15 →

中盛丸山 13:10 →

百間洞山の家 15:00 着

#### 4日目: 8/11 (木)

百間洞山の家 5:15 →

赤石岳 8:45 ~ 9:55 → 赤石小屋 13:20 着

#### 5日目: 8/12 (金)

赤石小屋 5:15 → 樺島ロッジ 8:05

東海フォレストバス 10:30 →

川西池田 20:00 着

### <山行の概要>

1日目は観光。寸又峡温泉にある「夢の吊橋」に行くが、急な雨のため断念。次の観光地、大井川鉄道の「奥大井湖上駅」へ行く。ちょうど雨も上がり晴れてくる。レインボーブリッジをトロッコ列車が走る駅、時間が許せば乗ってみたいと思った。湖と山の緑が長い移動時間の疲れを癒してくれた。

2日目いよいよ登山開始。標高 2260m の聖平小屋までの 1120m をひたすら登る。南アルプスは樹林帯の標高が高いのでまだ展望はよくないが、2本の滝が見える滝見台で、ようやく登ってきた実感がわく。聖平小屋は食事無しの宿泊のみの提供。しっかりビールの販売はあった。ありがたい。

3日目は聖岳に登る。いくつかのピークをアップダウンする一番ハードなコース、霧の中、時折みえる富士山の展望と南アルプスの山々、天気は良くなかったが、たくさんの種類のお花に癒された。

4日目は快晴。小屋情報では台風が発生と明日、明後日は豪雨で天気が崩れるという予報が入る。今日は赤石岳へ登る。百間平で昨日歩いた聖岳、兎岳、小兎岳、中盛丸山の稜線が綺麗に見られた。素晴らしい眺めだ。ちょうど「トランスジャパンアルプスレース」が行われている最中、参加されている選手と出くわした。日本海から太平洋までの過酷なレース、参加されるだけでも凄い。岩のごつごつした道を歩くと赤石避難小屋が見えてきた。斜面一体いたるところに花が咲いていた。山頂は 360 度パノラマの展望、東に富士山が大きく見え、北に荒川岳、塩見岳、その向こうの山々に仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、間ノ岳、中央アルプスの山々、御嶽山まで見ることが出来た。偶然出会った山のスタッフの話によると、南アルプスの山々がここまで綺麗に見えるのは珍しいとのこと。風は強かったがここでゆっくりコーヒータイムをして心行くまで眺望を楽しんだ。最高の気分だ。

5日目朝から雨。豪雨にならないうちに下山するため早朝より歩き始める。標高差 1400m を 3 時間で一気に下山、小雨のうちに下ることが出来良かった。思ったよりも歩きやすい道だった。その後段々雨がひどくなってくる。白樺荘で入浴後、先の道路で崖崩れ発生という情報が入る。今なら崩れた所を避けて通過できるというので急いで出発。現場は道路の半分が土砂でふさがっていた。目のあたりに災害の怖さを見た感じだ。そのあともサービスエリア近くで車がパンク、悪路を走ったせいとのこと、どれだけ過酷な道路だったかが解る。申し訳ない気持ちでいっぱいだ。

後日、静岡では豪雨で大変なことになる。当然白樺荘までの道はもっとひどい状況になり通行止め。ギリギリ帰ってくる事が出来て本当に良かった。1日遅かったらと思うと、怖い話だ。



1. 大井川にある巨大な長島ダム、この先に奥大井湖上駅がある(8/8)



2. レインボーブリッジと奥大井湖上駅(8/8)



3. 奥大井湖上駅のホーム(8/8)



4. ♥恋が叶う駅♥奥大井恋錠(こじょう)駅(8/8)



5. レインボーブリッジが綺麗(8/8)



6. トロッコ列車が近くで見られました(8/8)



7.南アルプス赤石温泉 白樺荘出発(8/9)



8.東海フォレストバス乗り場の畑薙大駐車場(8/9)



9.東海フォレストバス(8/9)



10.聖沢登山口下車 ここからスタート(8/9)



11.聖沢の吊橋 おおいに揺れました(8/9)



12.聖平小屋とテント場(8/9)



13.聖平小屋の前で、まだ元気そうです(8/10)



14.聖岳山頂 展望なし(8/10)



15.聖岳山頂から赤石岳が垣間見える(8/10)



16.奥聖岳 展望なし(8/10)



17.「兎岳避難小屋」  
小屋はもうありませんでした(8/10)



18.兎岳山頂 展望なし(8/10)



19.小兎岳 展望なし(8/10)



20.垣間見えた富士山、圧倒的な存在感  
手前は赤石岳(8/10)



21.百間洞山の家に向けてどんどん下る  
(8/10)



22.百間洞山の家到着(8/10)



23.快晴。この山々を歩いてきました(8/11)



24.富士山を見ながら歩く。最高の気分(8/11)



25.中央アルプスも見ながら歩く(8/11)



26.トランスジャパンアルプスレースに参加の選手とすれ違う。カッコいいな〜♪(8/11)



27.赤石だけに向かう。ごつごつ岩 疲れがたまっている顔(8/11)



28.抜群の展望 ゆっくり休憩、「もう歩きたくないな」(8/11)



29.赤石避難小屋が見えてくる(8/11)



30.もうすぐ赤石岳山頂だー!!(8/11)



31.赤石岳山頂。バックに富士山、最高の展望(8/11)



32.山頂で寒さに震えながらコーヒータイム「もう飽きるまで見るぞー」(8/11)



33.ルンルン気分の下山(8/11)



34.気持ちよい稜線歩き(8/11)



35.余裕のポーズ(8/11)



36.富士山見納め(8/11)



37.(8/11)



38.(8/11)



39.(8/11)



40.(8/11)



41.(8/11)



42.(8/11)



43.歩いてきた山々が見えます  
左から兎岳、中盛丸山、大沢岳(8/11)



44.北方面にある山々 左奥は仙丈ヶ岳、  
右手前は悪沢岳(8/11)



45.(8/11)



46.(8/11)



47.(8/11)



48.富士見平到着 後もう少し(8/11)



49.光小屋 8/6-12 営業停止の張り紙(8/11)



50.雨の中赤石小屋スタート、まだ小雨(8/12)



51.榎島ロッジに到着(8/12)



52. シャクジョウソウ？(これは花が下向きになり、色も白いことからギンリョウソウかと思われる) 葉が見えるのはイワカガミ



52. ホソバトリカブト



53. タカネマツムシソウ



54. ヨツバシオガマ



55. 花と葉は別物 花はイワシャジン？



56. 写真は鮮明でないがタカネシオガマ？



57. タカネウスユキソウ(タカネヤハズハハコ)



58. イワベンケイ



59. ?



60. イブキトラノオ



61. トモエシオガマ



62. シナノオトギリ



63. タカネビランジ



64. チングルマ



65. チングルマの花後の綿毛



66. ウサギギク



67. ミヤマダケブキ



68. ミヤマダイヤモンドジソウ



69. ミネウスユキソウ



70. ミネウスユキソウ



71. ゴゼンタチバナ



72. ?



73. アズマギク



74. ?



75. キオン? (キク科キオン属)



76. 形が悪いがタカネナデシコ?



77. トウヤクリンドウ



78. これだけではよく分らんが、白い花のようなものはオンタデの花の蕾みか?



79. ヤマブキショウマ



80. ハクサンシャクナゲ(周辺の葉は別物)

